

人形山・三ヶ辻山

日本300名山を歩く

2019年7月3日(水)~4日(木)

L: ヤマメ、吉川、磯部規

梅雨の合間をぬって、富山県の人形山(1726m)と三ヶ辻山(1764m)へ出かける。

豪雪地帯なのでアプローチの林道が6月の山開きまで車では入れず、その後も平日は工事が続いている、朝早くと夕方5時以降でないとい一般車は入れない。人家がなくなってからの登山口までの6.5kmの砂利道の通行は、轍が深くて気が抜けなかった。

く。約1時間で第1休息所に着いた。



登山口にある人形堂



あずまやのある駐車場

人形堂の横から適度な傾斜のある尾根道を上っていく。道の脇にササユリ・コアジサイが咲く。さすがに花の多い地方の山だ。

登山道はよく整備されていて歩きやすい。初めは杉の多い雑木の中を登ってい



コアジサイ

さらにだらだらと登りはつづき、2ピッチ2時間30分で、樹林帯を抜けて展望のいい宮屋敷跡に上り着いた。本来はここから、白山連山の景色を眺められるはずだが、あいにくの雲の多い天気、遠望は無し。雨が来ないだけ救われる。



宮屋敷跡

宮屋敷からはしばらく、低木帯の平坦道が続く。



サラサドウダンが花盛り

緩やかな見返り坂を一旦下ってわずかな時間急登を登ると人形山と三ヶ辻山の分岐に着いた。



ハクサンチドリ



ニッコウキスゲと人形山

分岐から人形山まで片道20分ほど。気持ちのいい稜線歩きだ。

山頂広場は本当は絶好の展望場だ。



ガスガスの頂上

分岐へ引き返し、今度は三ヶ辻山をめざす。この山は分岐から1.5kmで山頂。笹をかきわけ、倒木をまたいでの歩きにくい道で踏み跡も見にくい。片側切れ落ちている所や滑りやすい登りもあり片道30分かかった。

頂上はやはり、展望きかず。

雨が来ない内に下山開始。

なんとか梅雨の時期に雨にも遭わず、花も楽しめる山行ができた。総距離15

k mの山行だった。



ハクサンシャクナゲ



マイヅルソウの群落

おまけ

翌日は、朝から小雨、ガスも出ていたので合掌村を見学して帰ることにする。

白川郷は何度か寄っているのですが、今回は五箇山にある相倉（あいのくら）集落を見学する。

こじんまりした集落で白川郷ほどの華やかさはないが、静かな家々の並びはより日本の原風景を感じさせた。

本来はこの集落から人形山が見えるはずの展望台がいくつかあるが、残念ながら

ら、稜線のガスが取れず全体は見えなかった。



相倉集落



後ろは人形山



夫婦ケヤキ

磯部規子記